

SDGs 時代における科学技術のあり方
—ブダペスト宣言から 20 年—
第 9 回研究会
(2020 年度第 2 回)

1. 日時 2020 年 7 月 28 日(火) 19:00~21:00

2. 場所 オンライン研究会

3. 出席者 ※敬称略

代表者 有本 建男	国際高等研究所副所長、政策研究大学院大学客員教授、 科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー
大竹 暁	東京大学東京カレッジ副カレッジ長・未来ビジョン研究 センター特任教授
隠岐 さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授、 外務大臣次席科学技術顧問
小寺 秀俊	理化学研究所理事、OECD 科学技術委員会日本代表・副議長、 京都大学名誉教授・特定教授
駒井 章治	東京国際工科専門職大学工科学部情報工学科教授
新福 洋子	広島大学大学院医系科学研究科教授
宮野 公樹	京都大学学際融合教育研究推進センター准教授
杉谷 和哉	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程(議事編集作業担当)

国際高等研究所事務局

三石 祥子、 森口 有加里

4. 開催趣旨

本基幹プログラムでは、今年度発行の報告書を以下三段階のプロセスを経て作成することとする。

- ① メンバーがそれぞれ、時間軸にそったテーマを決め、第 1 論考を執筆する。(6~7 月)
- ② 第 1 論考を基に、各原稿の相関や位置づけを議論し、個々の具体的論考の集まりとしての報告書から、全体としてどのようなメッセージを発出できるのかを議論する。(7 月 28 日)
- ③ ②の議論を踏まえ、各人が第 2 論考を執筆する。(7~8 月)

7 月 28 日開催の研究会は、上記②にあたるものである。

5. 議事進行

- ・研究会開催趣旨の確認
- ・各人が第 1 論考について発表、各論考に対する意見交換 (1 論考につき 8 分程度、8 名)
- ・全体討論 (進行: 有本先生)

6. 資料

- ・第 1 論考群
- ・報告書の内容と作成プロセスについて
- ・前回議事メモ

以上